

コンソール接続のための正しい端末エミュレータ設定値の適用

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[背景説明](#)

[解決策](#)

[コンソールセッションでキーストロークが受け付けられない](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、ルータのコンソールポートに PC を接続したときに適用される正しい設定について説明します。またこのドキュメントでは、PC の Hyper Terminal を使用してルータを設定および監視する方法も詳細に説明します。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントは、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、事前にすべてのコマンドによる潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

背景説明

コンソール ケーブルを PC の COM シリアル ポートからルータに接続したとき、ルータ プロンプトが Hyper Terminal 上に表示されません。Hyper Terminal に表示された文字が文字化けしており、ルータがキー ストロークを受け付けなくなりました。ルータがハングしていて応答していないようです。

解決策

Hyper Terminal の設定を正しく設定する必要があります。設定が正しくないと、文字化けしてしまう場合があります。接続をセットアップする場合には、次の設定を使用します。

```
Bits per sec      : 9600
Data bits        : 8
Parity           : none
Stop bits        : 1
Flow control     : none
```

次に、Hyper Terminal を実行する Windows ベースの PC でこれらの設定を行う画面を示します。

これらの設定を行わないと、ルータが表示されてもキー ストロークを受け付けません。そのため、ルータがハングまたはクラッシュしたように見えます。以上のような正しい設定をすれば、Hyper Terminal を使用しルータを設定およびモニタできます。

注: 一部のルータのではコンソール スピードがコンフィギュレーション レジスタで変更されているため、9600 bps は機能しません。ただしこの状況は一般的ではありません。有効な速度 (9600 bps 以外) は、1200、2400、および 4800 bps です。一部のプラットフォーム (特に 3600 シリーズ ルータ) では 19200、38400、57600、および 115200 bps がサポートされています。このドキュメントで説明されている設定で接続できない場合は、これらの速度を試してください。

コンソール セッションでキー ストロークが受け付けられない

この問題は、次のいずれかが原因です。

- ボー レートとビット/秒の値が異なる
- コンソール ケーブルの不具合
- キーボードのスクロール ロック オプションがオンになっている (スクロール ロック キーが無効になっていることを確認してください)

関連情報

- [ルータ ハングに関するトラブルシューティング](#)
- [DIAL の概要 - ACCESS](#)
- [製品のサポート ページ](#)
- [テクノロジーに関するサポートページ](#)
- [テクニカルサポート - Cisco Systems](#)